

平成 29 年 5 月 29 日

各 位

会 社 名 東和フードサービス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 岸野 禎則
(コード：3329、東証 JASDAQ)
問合せ先 執行役員管理本部部長 長谷川 研二
(TEL. 03-5843-7666)

平成 29 年 4 月期通期業績予想と実績値との差異及び特別損失の計上のお知らせ

当社は、平成 29 年 4 月期におきまして平成 28 年 5 月 30 日に公表いたしました平成 29 年 4 月期通期業績予想値と実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1.平成 29 年 4 月期通期業績予想値と実績値との差異
(平成 28 年 5 月 1 日～平成 29 年 4 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	11,000	679	700	409	100 円 56 銭
今 回 実 績 (B)	10,787	538	558	207	50 円 98 銭
増 減 額 (B - A)	△213	△141	△142	△136	—
増 減 率 (%)	△1.9	△20.8	△20.3	△49.4	—
(ご 参 考) 前 期 実 績 (平 成 2 8 年 4 月 期)	10,597	582	628	327	80 円 24 銭

2. 差異の理由

当期純利益において発表予想を下回る結果となりました。当期純利益においては、会計基準に沿って特別損失として 212 百万円の減損損失を計上した影響が出ております。

客数回復策として継続的に実施している「お得な 6 日間」に加え、イベント性を重視した「チョコの日」「肉の日」、WEB 販促活動等により売上、経常利益ともに 18 期下期は大幅に業績回復が出来ました。「イタリアンダイニング DONA」では全店舗が店頭（店顔）・看板ロゴの変更とアラカルトメニューを中心とした新商品の開発、イタリアンステーキフェア等によりお酒を楽しみながらお食事をされるグループ客の増加により回復も顕著でした。19 期もこの勢いを継続し、業績に繋げてまいります。

以 上